

地区別防災カルテ 5. 中央東地区

地区名：中央東地区

地区番号：5

平成24年度作成

○地区の構成

初富の一部
南初富1～3丁目
東初富1～6丁目
東鎌ケ谷1～3丁目

○地区の概要

(位置) 中央東地区は、市の東部に位置し、船橋市、柏市、白井市に隣接する。
(地形) 地区の大部分がローム台地である。
(土地利用) 地区内の土地利用は、鎌ケ谷大仏駅を中心とする市街地と初富駅の外周市街地、さらに地域北側のまとまった農地に大別される。
(交通) 幹線道路としては、千葉方面と松戸方面を結ぶ主要地方道千葉鎌ケ谷松戸線、市川方面と印西方面を結ぶ主要地方道市川印西線が通過交通を処理している。鉄道は新鎌ケ谷、初富、鎌ケ谷大仏の各駅の徒歩圏から外れている初富、東初富の一部では、やや交通が不便な状況である。

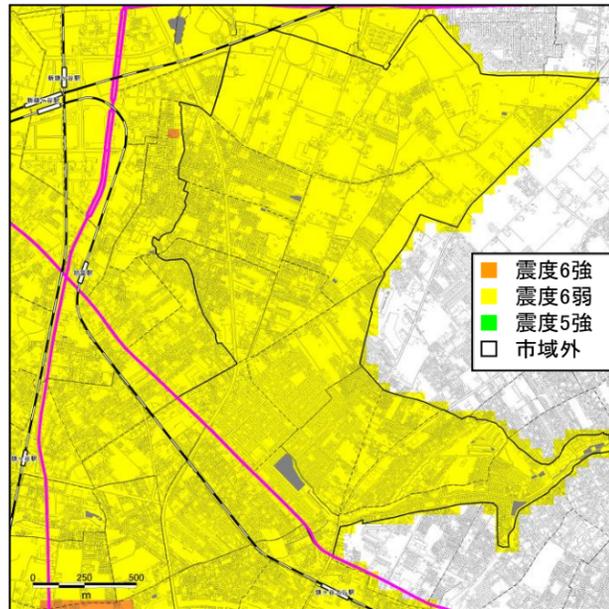
○地区の位置図



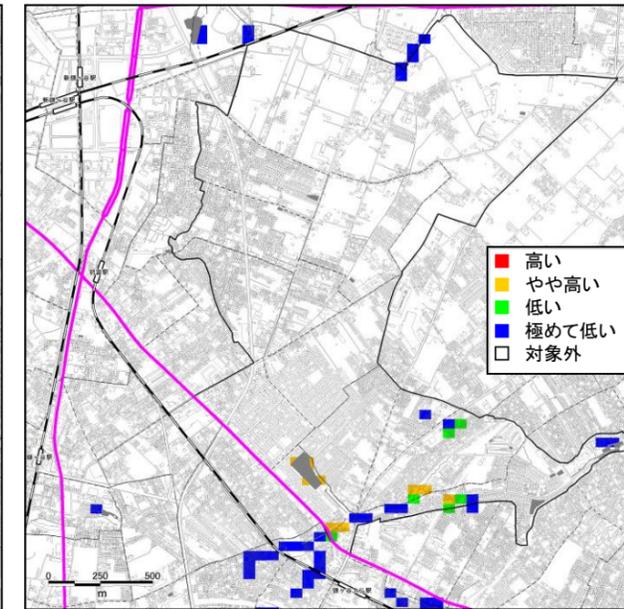
○社会条件

0～14歳	2,482 人	12.2% (対地区)		
15～64歳	12,574 人	61.8% (対地区)		
65歳以上	5,298 人	26.0% (対地区)		
人口 (合計)	20,354 人	18.7% (対全市)		
人口密度	6,785 人/km²			
世帯数	8,195 世帯	18.1% (対全市)		
建物棟数				
木造	昭和36年以前	100 棟	1.4% (対地区)	
	昭和37～56年	2,325 棟	33.0% (対地区)	
	昭和57年以後	3,557 棟	50.5% (対地区)	
非木造	昭和45年以前	31 棟	0.4% (対地区)	
	昭和46～55年	242 棟	3.4% (対地区)	
	昭和56年以後	798 棟	11.3% (対地区)	
建物 (合計)			7,053 棟	21.4% (対全市)

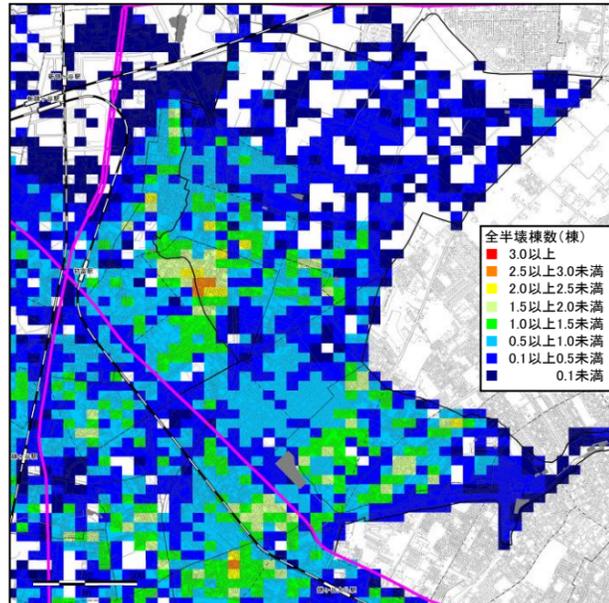
○災害予測の結果 (図)
＜鎌ケ谷市直下地震 (Mw7.3) の場合＞
●想定される地震動の強さ



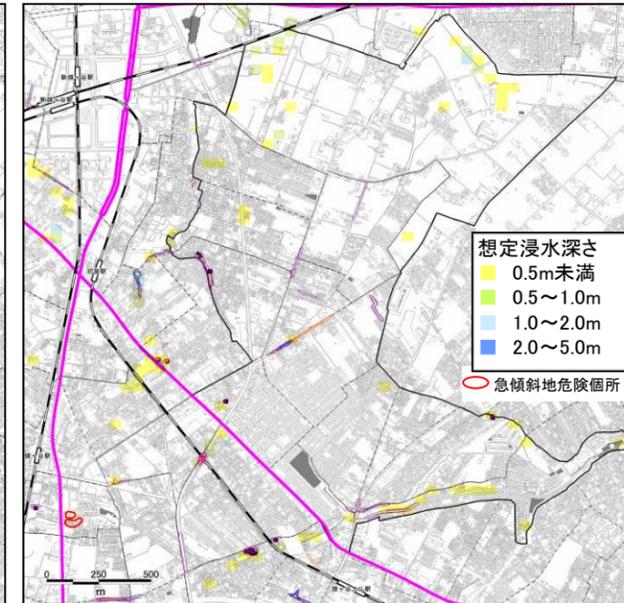
●液状化の危険性



＜鎌ケ谷市直下地震 (Mw7.3) の場合＞
●建物被害棟数 (半壊以上)



＜水害・土砂災害の場合＞
●水害・土砂災害危険性分布図



○防災関連施設

避難場所	屋外収容人数	広域避難場所	屋外収容人数	高齢者福祉施設
五本松小学校	3,507 人	(※下線は臨時ヘリポート設置予定地)		デイサービス優しい時間南初富(通)、やすらぎ家 鎌ケ谷亭(通)、鎌ケ谷市北部在宅介護支援センター(特)、デイケア憩の家ゆたか(リ)、デイサービス四つ葉のクローバー(通)、鎌ケ谷デイサービスわらわ亭(通)、ファミリーケア鎌ケ谷さくら物語(通)、あおぞらの里 鎌ケ谷デイ・サービスセンター(通)、特別養護老人ホーム初富の里(特)、社会福祉法人長寿の里 特別養護老人ホーム鎌ケ谷翔裕園(特)
初富小学校	- 人			
第五中学校	9,132 人			
南初富保育園	1,053 人			
福太郎アリーナ	4,947 人			
耐震性貯水槽・防災倉庫	五本松小学校 (貯水槽)		(介):介護付老人ホーム、(通):通所介護、(居):居宅介護、(グ):グループホーム、(特):特別養護老人ホーム、(訪):訪問介護、(サ):サービス付高齢者向け住宅、(有):有料老人ホーム、(リ):通所リハビリ、(共):共同生活介護	
市民体育館 (防災倉庫)				
消防署				
消防団施設	第4分団	障害者福祉施設		
警察署・交番・駐在所	おんりい1・きらら、たんぼぼハウス、myペアホーム鎌ケ谷			
病院 (医科)	白戸胃腸科・外科、秋元病院、和田耳鼻咽喉科医院、大石内科胃腸科医院			生活の丘梨の木工房
	児童ホーム			
保育園・幼稚園				
わたなべ幼稚園	鉄道 (駅名)			
学校				
	指定公共機関等			
	五本松小学校、初富小学校、第五中学校			

○近年の災害履歴 (平成20年～24年)

水害	平成20年5月20日台風4号(道路冠水1件)、平成21年8月10日大雨・洪水(道路冠水1件)、平成21年10月5～8日大雨・台風18号(道路冠水1件)、平成22年9月8日大雨・洪水(道路冠水9件)、平成22年9月13日大雨・洪水(道路冠水2件)、平成22年12月3日大雨(床下浸水3戸、道路冠水5件)、平成24年6月19日台風4号(道路冠水2件)
土砂災害	

○災害予測の結果 (概要)

項目	主な予測結果	危険度評価 →高い	概要
地震の揺れの強さ	平均震度6弱		強い揺れが予測されている。
液状化の危険性	低い		地区全体では低いですが、河川沿いの一部でやや高い。
建物被害	全半壊率7.4%		木造建物中心に被害が予測される。
延焼 (冬18時)	建物焼失割合1.9%		住宅密集地を中心に延焼が広がることが予測される。
人的被害 (冬18時)	死傷者予測数93人		主に建物被害による負傷者が予測される。
水害の危険性	他の地区と比較してやや低い		河川沿いや凹地などを中心に浸水や道路冠水の事例がある。
土砂災害の危険性	低い		土砂災害危険箇所は存在しない。